



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 山洋電気株式会社

コード番号 6516 URL <http://www.sanyodenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 茂生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門担当 経理部部长 (氏名) 田母神 観一郎 TEL 03-3917-5151

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	32,030	△14.5	1,971	△30.7	1,876	△31.1	1,072	△61.9
24年3月期第2四半期	37,457	15.4	2,845	14.8	2,722	22.0	2,812	34.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 948百万円 (△63.9%) 24年3月期第2四半期 2,630百万円 (91.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	17.26	—
24年3月期第2四半期	45.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	67,945	39,361	57.1	624.95
24年3月期	69,863	38,910	55.0	617.98

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 38,829百万円 24年3月期 38,397百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	8.00	13.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	4.3	5,200	11.5	5,300	7.8	3,700	△15.3	59.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	64,860,935 株	24年3月期	64,860,935 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,728,989 株	24年3月期	2,727,328 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	62,132,478 株	24年3月期2Q	62,137,775 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災からの復興需要により回復傾向にありましたが、海外経済の減速により、7月以降大きく落ちこみました。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械・ロボット・半導体製造装置などの設備産業業界においても、需要が大きく落ちこみました。

一方、太陽光発電の需要は活発でした。

その結果、当第2四半期累計期間における連結売上高は32,030百万円（前年同期比14.5%減）となり、連結営業利益は1,971百万円（前年同期比30.7%減）、連結経常利益は1,876百万円（前年同期比31.1%減）、連結四半期純利益は1,072百万円（前年同期比61.9%減）となりました。

受注高は32,697百万円（前年同期比9.8%減）、受注残高は11,298百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## ①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上高は32,801百万円（前年同期比10.4%減）となり、セグメント利益は1,378百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

## ②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC. があります。セグメント売上高は2,469百万円（前年同期比20.9%減）となり、セグメント利益は17百万円（前年同期比90.0%減）となりました。

## ③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A. およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上高は1,473百万円（前年同期比22.8%減）となり、セグメント利益は87百万円（前年同期比37.2%減）となりました。

## ④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD. ならびに山洋電気テクノサービス株式会社の子会社である山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司、および山洋電気（香港）有限公司の子会社である山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司があります。セグメント売上高は4,176百万円（前年同期比31.6%減）となり、セグメント利益は64百万円（前年同期比81.7%減）となりました。

## ⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC., SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. および山洋電気テクノサービス株式会社の子会社であるSANYO DENKI TECHNO SERVICE (SINGAPORE) PTE. LTD. およびSANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. の子会社であるSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. があります。セグメント売上高は4,989百万円（前年同期比7.0%減）となり、セグメント利益は263百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

#### ①クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、太陽光発電用パワーコンディショナ、電気自動車用急速充電器、画像表示装置、家庭用燃料電池、電力貯蔵システム向けに多くの需要がありました。

従来からの大口市場であった通信業界向けの需要は、国内、海外とも堅調に推移しましたが、ファクトリーオートメーション業界、サーバ業界は国内外ともに需要が低迷しました。

その結果、売上高は7,623百万円(前年同期比12.9%減)、受注高7,638百万円(前年同期比6.1%減)、受注残高1,793百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

#### ②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、昨年度に引き続き東日本大震災後の防災用として、エンジン発電機に多くの需要がありました。また、本年7月から始まった太陽光発電の全量買取制度により太陽光発電用パワーコンディショナの需要は大幅に増加しました。

その結果、売上高は4,507百万円(前年同期比9.4%増)、受注高6,014百万円(前年同期比24.2%増)、受注残高3,448百万円(前年同期比21.2%増)となりました。

#### ③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、中国市場の停滞によって工作機械、産業用ロボット、一般産業機械向けの需要が低迷しました。第1四半期まで堅調に推移していたチップマウンタ、射出成形機業界からの需要も8月から減速しました。

その結果、売上高は16,793百万円(前年同期比17.7%減)、受注高15,631百万円(前年同期比18.7%減)、受注残高3,543百万円(前年同期比34.1%減)となりました。

#### ④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電機材料の販売は、通信用機器・半導体関連の需要が落ち込んだものの、太陽光発電向けパワーコンディショナおよびパワーコンディショナ用盤など省エネルギー・新エネルギー関係の引き合いが活発でした。また、鉄鋼関連事業における老朽更新等の引合いも多く出始めました。

その結果、売上高は2,456百万円(前年同期比16.5%減)、受注高2,554百万円(前年同期比6.9%減)、受注残高1,985百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

#### ⑤電気工事事業

主な事業分野の製鉄プラント設備関係は、操業率低下の影響を大きく受け、補修費削減、工事計画の延期により低迷しました。一方で、太陽光発電設置工事の引合いが多く出始めました。

その結果、売上高は648百万円(前年同期比47.8%減)、受注高859百万円(前年同期比34.1%減)、受注残高527百万円(前年同期比57.9%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、純資産で450百万円の増加、総資産で1,917百万円、負債では2,368百万円の減少となりました。

総資産の主な変動要因は、受取手形及び売掛金の減少594百万円、商品及び製品の減少638百万円、投資有価証券の減少511百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、支払手形及び買掛金の増加993百万円、短期借入金の減少1,352百万円、未払法人税等の減少617百万円によるものです。

純資産の主な変動要因は、利益剰余金の増加575百万円、その他有価証券評価差額金の減少202百万円によるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、9,386百万円となり、前連結会計年度末より8百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動による資金の増加は、3,120百万円となりました。これは主に、売上債権の減少額645百万円、減価償却費1,030百万円、税金等調整前四半期純利益1,501百万円によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動による資金の減少は、502百万円となりました。これは主に、生産設備等の有形固定資産の取得による支出572百万円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動による資金の減少は、2,629百万円となりました。これは主に、配当金の支払額495百万円、長期借入金の返済による支出590百万円、短期借入金の減少額1,342百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年4月26日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,912	9,777
受取手形及び売掛金	19,841	19,246
有価証券	82	80
商品及び製品	4,462	3,823
仕掛品	3,285	3,302
原材料及び貯蔵品	5,781	5,844
未成工事支出金	90	202
未収入金	695	915
繰延税金資産	867	771
その他	454	390
貸倒引当金	△29	△29
流動資産合計	45,443	44,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,455	8,129
機械装置及び運搬具（純額）	2,477	2,189
土地	6,365	6,366
建設仮勘定	287	586
その他（純額）	638	595
有形固定資産合計	18,224	17,867
無形固定資産		
	537	496
投資その他の資産		
投資有価証券	3,502	2,991
繰延税金資産	27	87
その他	2,155	2,203
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	5,656	5,253
固定資産合計	24,419	23,618
資産合計	69,863	67,945



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,039	12,032
短期借入金	8,499	7,147
未払法人税等	979	362
繰延税金負債	0	—
役員賞与引当金	65	36
環境対策引当金	179	—
その他	4,057	3,506
流動負債合計	24,821	23,085
固定負債		
長期借入金	3,369	2,750
リース債務	436	386
退職給付引当金	670	855
繰延税金負債	103	58
再評価に係る繰延税金負債	977	977
その他	574	469
固定負債合計	6,131	5,498
負債合計	30,952	28,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,926	9,926
資本剰余金	11,460	11,460
利益剰余金	18,783	19,358
自己株式	△897	△898
株主資本合計	39,273	39,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	△199
土地再評価差額金	799	799
為替換算調整勘定	△1,678	△1,618
その他の包括利益累計額合計	△875	△1,018
少数株主持分	512	531
純資産合計	38,910	39,361
負債純資産合計	69,863	67,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	37,457	32,030
売上原価	29,805	25,547
売上総利益	7,652	6,483
販売費及び一般管理費	4,807	4,512
営業利益	2,845	1,971
営業外収益		
受取利息	20	26
受取配当金	56	52
助成金収入	101	3
負ののれん償却額	68	—
その他	74	21
営業外収益合計	322	103
営業外費用		
支払利息	68	59
為替差損	364	128
その他	12	10
営業外費用合計	445	199
経常利益	2,722	1,876
特別利益		
固定資産売却益	0	1
受取補償金	885	—
特別利益合計	885	1
特別損失		
固定資産除却損	4	60
投資有価証券評価損	171	304
役員退職慰労金	4	12
特別損失合計	179	376
税金等調整前四半期純利益	3,427	1,501
法人税、住民税及び事業税	846	420
法人税等調整額	△287	1
法人税等合計	558	422
少数株主損益調整前四半期純利益	2,869	1,079
少数株主利益	56	6
四半期純利益	2,812	1,072

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,869	1,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△289	△201
為替換算調整勘定	51	71
その他の包括利益合計	△238	△130
四半期包括利益	2,630	948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,579	929
少数株主に係る四半期包括利益	51	19

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,427	1,501
減価償却費	1,302	1,030
売上債権の増減額 (△は増加)	486	645
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,227	465
仕入債務の増減額 (△は減少)	776	937
その他	16	△559
小計	4,782	4,021
法人税等の支払額	△469	△914
その他	△1	14
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,311	3,120
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△468	△572
その他	△350	70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△818	△502
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,174	△1,342
長期借入れによる収入	697	—
長期借入金の返済による支出	△477	△590
配当金の支払額	△432	△495
自己株式の取得による支出	△2	△0
その他	△139	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,529	△2,629
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12	8
現金及び現金同等物の期首残高	8,822	9,378
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,810	9,386

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	27,654	3,084	1,897	4,449	371	37,457
セグメント間の内部売上高または振替高	8,957	36	9	1,655	4,992	15,651
計	36,611	3,121	1,907	6,105	5,363	53,109
セグメント利益	1,698	179	139	351	356	2,724

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,724
セグメント間取引消去	121
四半期連結損益計算書の営業利益	2,845

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	25,075	2,432	1,453	2,735	332	32,030
セグメント間の内部売上高または振替高	7,725	36	19	1,440	4,657	13,879
計	32,801	2,469	1,473	4,176	4,989	45,910
セグメント利益	1,378	17	87	64	263	1,811

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,811
セグメント間取引消去	160
四半期連結損益計算書の営業利益	1,971

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。